

公開研究会

「加藤清正文書研究の最前線」



東京大学史料編纂所の一般共同研究「加藤清正文書の基礎的研究」では、加藤清正関連文書の編年目録化と公開を目指し、平成24年度から25年度にかけて各地に所在する史料の調査を進めてまいりました。

今回の公開研究会では、清正関連文書の調査概要と個別の研究報告、パネルディスカッション「加藤清正文書研究の現状と課題、そして可能性」を実施し、2年間に及ぶ共同研究のまとめにしたいと思います。

開催日：平成26年3月9日（日）

開催時間：13時30分～17時

場所：熊本県立美術館本館講堂
（熊本市中央区二の丸2番）

<http://www.museum.pref.kumamoto.jp/>

問い合わせ先：096-352-2115
（熊本県立美術館学芸課山田貴司）

◆概要説明

金子 拓（東京大学史料編纂所）

大浪和弥（延岡市教育委員会・研究代表者）

◆研究報告

①大浪和弥

「加藤清正の花押と印章」

②鳥津亮二（八代市立博物館未来の森ミュージアム）

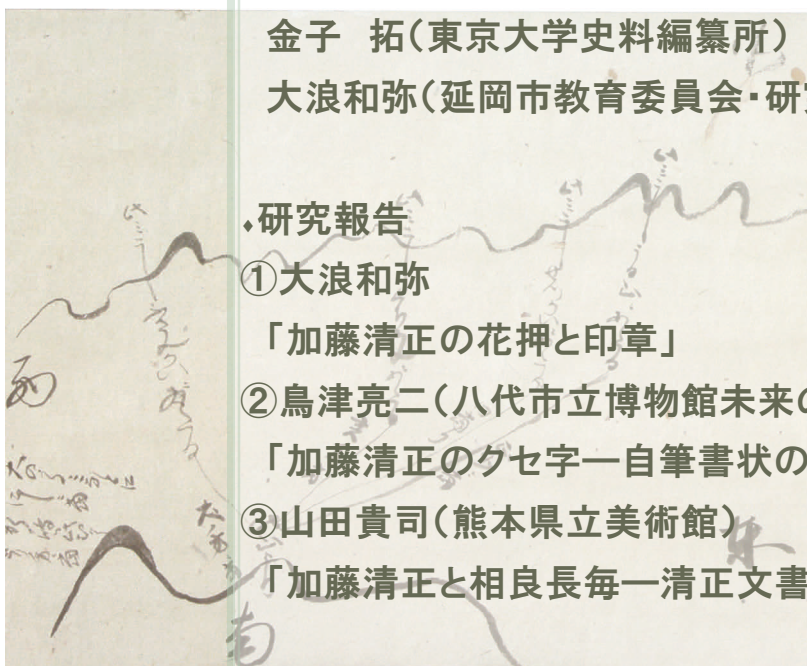
「加藤清正のクセ字—自筆書状の基礎的考察—」

③山田貴司（熊本県立美術館）

「加藤清正と相良長每一清正文書にみる隣国大名論—」

◆パネルディスカッション

「加藤清正文書研究の現状と課題、そして可能性」



主催：一般共同研究「加藤清正文書の基礎的研究」プロジェクト

協力：熊本県立美術館

参加費無料

当日申し込みも受け付けますが、資料準備にあたり大体の参加人数を把握する必要があるため、参加ご希望の方はあらかじめ下記フォームによりお申し込みをお願いいたします。

<http://www.hi.u-tokyo.ac.jp/footer/seminar-entry.html>